

平成 28 年度 アppeール会本部役員会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 4 月 22 日（金） 14 時～17 時

2. 開催場所 東洋食品工業短期大学 会議室

3. 出席者

会長	野上 健次
副会長	佐々木 幸治
同	羽場 正信
同	田中 喜徳
同	松原 清俊
会計幹事	斎藤 至康
北海道支部長	豊田 勝己
東北支部長	富樫 健
関東支部長	篠原 龍浩
信越支部長	中村 正和
静岡支部長	石田 雅則
名古屋支部長	岡本 雅志
近畿支部長	長塚 洋二郎
中国支部長	竹内 毅
四国支部長	西山 正一
九州支部長	原 裕久
会計監査	本間 欽吾
事務局	斎藤 至康 (17 名)

欠席者

会計監査	中野 栄介
------	-------

役員会開催に先立ち、野上会長から、

3 月 31 日で古賀学長が退任され、4 月 1 日に後藤弘明学長（11 代目）が就任されたとの報告があった。

—後藤学長のご挨拶と短大の近況報告について—

初めに「アppeール会の皆様には、日頃から大変お世話になっており、誠にありがとうございます。」と、お礼の言葉をいただいた。

4 月 4 日、短大 56 期生の入学式が行われ、今年は 41 名（女性 9 名）の

新入生が加わり、在學生は 76 名となった。

昨今の入試では定員割れの大学も出ている中、本学は 2 倍弱の志願者倍率となっている。

入学式では、新入生に対して「学生として本学での学びを通して自分が食品の分野を目指すという事から何が出来るのか、世の中に対して何が出来るようになりたいのかを、考え続けてほしい。」と述べた。

定刻 野上会長が議長席に着き、本日は幹事の 2/3 以上が出席しているため、「アップール会会則第 16 条」により本役員会が成立している旨を告げ、開会を宣言した。

4. 議題

第 1 号議案 平成 27 年度収支決算報告の件

齋藤会計幹事より別添資料 1 に基づき報告。併せて本間会計監査より監査報告があり、異議なく承認された。

第 2 号議案 平成 27 年度会費納入状況報告の件

齋藤事務局長より別添資料 2 に基づき報告し、原案通り承認された。

第 3 号議案 平成 27 年度支部活動報告の件

各支部長より平成 27 年度の支部活動および平成 28 年度の活動計画について以下報告があった。

「北海道支部」

昨年 10 月 10 日に札幌で支部総会を開催。学校から稲津先生が講演のため出席し、本部からは佐々木副会長が出席した。支部会員 4 名の他に東北支部からの会員等を含め計 9 名が参加。

案内状を出すものの相変わらず返信が非常に少なく、若い会員が出席しない状態が数年続いている。

今年 7 月の総会では、根室にある高碓先生の碑に献花を行うという計画を立ててはいるが、来年は東洋製罐が 100 周年を迎え、記念イベントを催されるだろうということで、それに合わせた方が良いのではないかという意見もあり、今年の支部総会の内容は再度検討していきたい。

「東北支部」

今年度卒業生 1 名が岩手缶詰に就職され、支部会員数は 143 名となった。

昨年 6 月 20 日に山形県寒河江で支部総会を開催。学校から井上先生、本部から野上会長がそれぞれ講演のため出席。支部会員は東北のほとんど

の県から集まり、近年では最高の 43 名が参加した。
今年度は、6 月 11 日に岩手で総会開催を予定している。

「関東支部」

昨年 6 月 19 日に幹事会を開き、9 月 5 日に銚子のヒゲタ醤油の工場見学後に支部総会開催。学校から古賀学長が出席し、支部会員は 12 名が参加した。

「関東支部」となって初めての総会を銚子で実施したが、交通の便等の関係で、出席者が少なかった。

今年度は、5・6 月頃に幹事会開催後、8 月に支部総会を予定している。

「信越支部」

今年 1 月 23 日、久しぶりに支部総会を実施。学校から八木先生が講演のため出席し、本部から田中副会長が出席した。支部会員は 9 名が参加。次回は、来年 4 月の花見の時期を予定している。

「静岡支部」

今年 3 月 26 日に石田新支部長体制での支部総会を開催。学校から谷岡先生、本部から野上会長がそれぞれ講演のため出席。支部会員は 10 名が参加した。

今年度については、幹事会を開き、総会時期を含めて検討していきたいと考えている。

「名古屋支部」

支部長自身の仕事の都合上と若い会員の総会参加が難しく、会員の足並みがそろわない状態のため、支部総会を開催できなかった。

「近畿支部」

今年 2 月 20 日に学校で支部総会開催。学校からは古賀学長と講演のため山本先生が出席。野上会長の講演もあり、支部会員は 14 名が参加した。会員数が多い割には参加者が少ないが、毎年総会開催を継続すれば新しい会員も出席するのではないかと思っている。

「中国支部」

支部長自身の個人的な都合で支部総会を開催出来なかった。

今年は、秋に開催を予定している。

東洋製罐広島工場には永年支部の事務局として携わってもらったが、昨年の組織変更に伴いこれが出来なくなり、今後は事務業務を支部内でやらざるを得なくなった。

「四国支部」

昨年 7 月 11 日に香川県琴平町で支部総会開催。本部から講演を兼ねて野上会長が出席し、支部会員は 12 名が参加した。

何時も会員を含めて香川県中心の開催となっているので、今後は他県の会員の出席も促していきたい。

「九州支部」

昨年9月5日に、1泊2日の日程で宮崎県都城にて支部総会開催。学校からは福島学科長と講演のため谷岡先生が出席。支部会員は21名が参加した。霧島酒造の工場見学も行った。

今年は、6月頃に幹事会を行い、鳥栖で支部総会を開催する予定。

— 総括 —

支部総会は「同窓会」というイメージになりがちであるが、今後会員に総会への出席を促すためには、内容を検討して会員の所属会社が卒業生に対して「外部研修」という名目による出張扱いで出席させるという考えを持っていただき、若い会員を中心に出席者を増やしていきたい。

また、昨年、野上会長が数か所の支部総会に出席され、仕事上身近に起こりうるテーマを題材に講演され大変好評であったので、今年も機会を設けて他の支部でも講演を行いたいこと、また、会員の中で身近な問題や技術的知識がある方に講演をお願いするのも一案と考えられる。

第4号議案 平成28年度収支予算書(案)の件

斎藤会計幹事より別添資料3に基づき報告し、原案通り承認された。

第5号議案 役員改選の件

静岡支部長が田口敦氏から石田雅則氏（短大25期生）に交代されたことを承認した。

第6号議案 災害援助ボランティア活動の件

昨年の役員会において「災害援助ボランティア活動」を立ち上げたいという事となり、会長と事務局との間で数回に渉り打ち合わせを行い、会員に送る「通達文」等の素案を作成した。各役員に本内容の検討を依頼の後、文面の加筆・訂正を経て会員全員に配布した。

「ボランティア登録カード」については、会員の年齢を配慮して短大1期～53期卒業生の約1,200名に発送したが、3月末現在で、活動に「登録する」が59名、「登録しない」が22名で、残りは返信がない結果となっている。各支部別に「登録者」リストを作成して支部長宛にメール済みで、保険についても「スポーツ安全保険」の「ボランティア活動」という区分に加入済みである。

とりあえず立ち上げたという状態である。現に数日前に熊本地方を中心に

大地震が発生して被害が続出している状況で、これから会長・事務局・支部長・学校間にて連係プレー等の運営について協議していく必要がある。

また、実際に活動が行われた後の「ボランティア活動結果報告書」の書式については、本日、「素案」を各役員に配布し、内容の検討をしてもらい、後日メール等にて意見を聞くこととした。

なお、野上会長より先日発生した熊本地方を中心とした大地震に伴う会員および家族の安否並びに住居等の被害状況については、松原副会長が中心となって確認して事務局等に連絡を入れると同時に、東北を中心とした地震による被害を受けられた会員同様、該当する会員がいた場合は義援金を支給するとの提案があり、全員の了承を得た。

その他

- ① アppeール会会則の「会計細則」1の事務局員に対し、勤務手当を支給することについて

昨今、事務処理量の増加と煩雑化および会員からの問い合わせ等における電話代を含む通信費が増加している現状を踏まえ、新たに通信費を含めて勤務手当の見直しについて議論をした。結果、勤務1回につき10,000円から15,000円に改定することで全員の承認を得た。

- ② アppeール会会則第4条の「準会員」の取り扱いについて

昨年の役員会で議題となり持ち越しとなっていた「準会員」の取り扱いについて議論した。専門知識を得るために1年以上に亘り通常の授業を受けた「科目等履修生」についても「正会員」として認めるという事で、全員の承認を得た。

以上、本日の議案審議を全て終了して閉会。

[資料編]

- 別添資料1 平成27年度 アppeール会本部 収支決算報告書
- 別添資料2 平成28年度 支部活動助成金 支払明細書
- 別添資料3 平成28年度 アppeール会本部 収支予算書(案)

平成27年度 アppeール会本部 収支決算書

[自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金 額(円)	摘 要	金 額(円)
前期繰越金	5,897,650	支部活動助成金(振込料含む)	293,706
第55期生入会金 (@30,000×36名)	1,080,000	本部役員会開催費	437,492
		支部総会参加役員旅費等	284,726
年会費 (@2,000×429口)	858,000	学生会バスツアー援助金	278,464
自動払込 148口		災害援助ボランティア活動関係費	369,079
振替払込 275口		会費振込用紙及び封筒作成費	59,940
現金 6口		会費納入願書郵送費	98,600
役員懇親会費	55,000	年会費8名返金(振込料含む)	48,264
預金利息	2,087	年会費振込手数料	35,284
郵便局 1,925		振替振込手数料 31,584	
三井住友銀行 162		自動振込手数料 3,700	
		会計・事務処理作業費等	214,500
		雑費(はがき・切手等)	3,058
		次期繰越金	5,769,624
合 計	7,892,737	合 計	7,892,737

上記 記載事項について相違ないことを認めます

平成28年4月22日

会計監査

本間 欽吾 印

会計監査

中野 栄介 印

資料 2

平成28年度 アップール会支部活動助成金 支払明細書

(平成27年度本部会費納入ベース)

支払日 平成28年4月22日

支部名	会員数	会費入金 口数	入金率 %	支部活動助成金		受領印
				単価(円)	助成額(円)	
北海道	25	8	32	700	5,600	
東北	149	74	50	700	51,800	
関東	218	67	31	700	46,900	
信越	45	12	27	700	8,400	
静岡	129	32	25	700	22,400	
名古屋	80	21	26	700	14,700	
近畿	418	107	26	700	74,900	
中国	67	20	30	700	14,000	
四国	122	41	34	700	28,700	
九州	192	47	24	700	32,900	
計	1,445	429	30	700	300,300	

平成28年4月22日

平成28年度 アppeール会本部 収支予算書(案)

[自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金 額(円)	摘 要	金 額(円)
前期繰越金	5,769,624	支部活動助成金	300,000
第56期生入会金 (@30,000×41名)	1,230,000	本部役員会開催費	650,000
年会費 (@2,000×430口)	860,000	支部総会参加役員旅費等	200,000
役員懇親会費	60,000	学生会イベント援助金	300,000
預金利息	2,200	災害援助ボランティア活動関係費	70,000
郵便局 2,000		封筒・会費振込用紙作成費	50,000
三井住友銀行 200		会費納入願書郵送費	100,000
		年会費振込手数料	34,000
		振替払込料金 30,000	
		自動払込料金 4,000	
		会計・事務処理作業費等	200,000
		予備費	100,000
		雑費	10,000
		次期繰越金	5,907,824
合 計	7,921,824	合 計	7,921,824